

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	社会体育団体育成事業	会計名称	一般会計		担当課	社会教育課	
		予算科目	10 款 6 項 2 目	事業番号	5050	所属長名	泉一人
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	岡市裕二	
法令根拠等	スポーツ基本法、社会教育法、教育基本法、伊予市体育関係団体活動補助金交付要綱				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	生涯学習都市の創造 誰もが親しめるスポーツ・レクリエーションの振興					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	誰もが親しめるスポーツ・レクリエーションの振興						
事業の対象	伊予市スポーツ協会	事業の目的		伊予市スポーツ協会競技団体、地域団体、スポーツ少年団の活動を支援・育成することによりスポーツ振興を図るとともに市民の健康増進、体力向上、さらには、地域との連携強化とコミュニティスポーツを推進する。			
事業の内容 (整備内容)	伊予市スポーツ協会に加盟する競技団体、地域団体、スポーツ少年団への補助金支給により、社会体育実施団体への支援・育成を行うとともに、市民誰もが参加できる駅伝大会の開催経費を助成する。		昨年度の課題に対する具体的な改善策				

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	3年度予定	9月末の実績	3年度実績
直接事業費	3,419	3,760	0	0	0	3,355	活動補助金、助成金	団体	35	32	32	32
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0	事業補助金	事業	0	1	0	0
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0						
一般財源	3,419	3,760	0	0	0	3,355						
職員の人工(にんく)数	1.50	0.52				0.52						
1人工当たりの人件費単価	7,812	7,841				7,841						
※ 直接事業費+人件費	15,137	7,837				7,432						
主な実施主体			実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)									
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年間の合計		
					4,066	4,066	4,066	4,066	4,066	20,330		
成果指標	指標	社会体育団体の活動状況	単位	⇒	区分年度	前年度	3年度	4年度	目標	毎年度		
	指標設定の考え方	社会体育団体のスポーツ活動が効果的に行われたか	団体/事業		目標	35	32	32	-			
	指標で表せない効果		実績		35	32	-					

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		予定通り活動支援に取り組んだ。									
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業成果・工夫した点	伊予市スポーツ競技団体、地域団体、スポーツ少年団の活動を支援及び育成することにより、スポーツ振興並びに市民の健康増進・体力向上、更には地域コミュニティの向上に努めることができた。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3				
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3				
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4				
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3				
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3				
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
		コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) スポーツ少年団、地域スポーツ団体、スポーツ協会等の育成により、生涯スポーツの推進を図るため、継続実施する。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3				
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3				
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4					
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
	コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
所属長の課題認識	関係団体への支援を継続しつつも、自立した活動を促し、伊予市のスポーツ文化の確立を目指す。										

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 社会団体の育成に必要な事業であるため事業継続と判断するが、既存団体のみならず新規団体の育成も必要であるとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	